

認可外保育施設 サービス向上事業研修会

～事例から学ぶ「支援」のポイント～

沖縄県発達障害者支援センターがじゅま～る
狩俣 順也(保育士/学校心理士)

1

保育施設での困り感

- ・集団に参加することが難しい
- ・癇癪(かんしゃく)をおこすことが多い
- ・立ち歩きが多い
- ・動きが粗暴である
- ・あまり話そうとしない(発語がみられない)
- ・お昼寝をしようとしていない …… etc

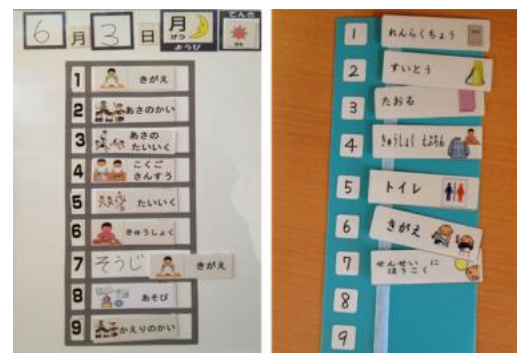
2

保育現場での支援の工夫

視覚的な支援
構造化
声かけ
ルールの設定
絵カード

3

視覚的な支援



4

構造化



5

構造化



6

声かけ

- 短く・具体的に
 - ×:「ちゃんとしようね」「しっかりして」
 - :「イスにすわろう」「手はひざに置こう」
- 肯定的な表現
 - ×:「走らないで!」
 - :「ゆっくりあるこうね」

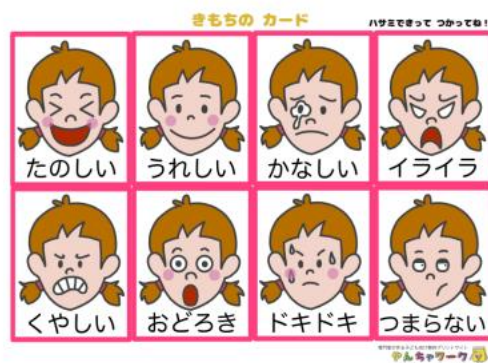
7

ルールの設定

- シンプルで具体的に伝える
 - 「お口を閉じよう」
- ルールは明確にしておく
 - 「順番を守る」
- やるべきこととして伝える
 - 「ゆっくりあるこう」

8

絵カードの活用



9

保護者との関係性づくり

【受容的・共感的に接する】

保護者は「他の子と違うかも...」という不安や葛藤を抱えていることが多く、繊細な時期です。

「○○くん、今こういうことが好きなんですね」

「こんなことができるようになってきましたよ」など、ポジティブな面に触れた声かけが心を開くきっかけになります。

10

保護者との関係性づくり

【否定や決めつけは避ける】

✗「発達障害かもしれませんよ」

→ 見立てや専門的判断は慎重に。あくまで気になる様子として伝える。

✓「遊びの中で少し気になる動きが見られるので、今後も様子を見せていただければと思います」

11

保護者との関係性づくり

【情報提供はタイミングを大切に】

保護者が気持ちを受け止められる状態にあるかを見極めて、焦らず段階的に伝えていきましょう。

必要に応じて、療育支援センターや発達相談窓口のパンフレットを渡すなど、さりげない情報提供も有効です。

12

保護者との関係性づくり

【専門機関や療育へとつなぎたい場合】

「もう少し専門の方のアドバイスがもらえると、お子さんの良さがもっと伸ばせる気がしていて...。
地域の相談窓口をご紹介しますよ」

13

ワーク 片付けができない子

保育園で「片付けができない子」への対応について近くの先生と考えを話し合ってみましょう！



14

ワーク 片付けができない子

「片付けができない子」に対しては、その子の発達段階や特性に合わせた支援が大切です。単に「やらない」「できない」のではなく、「**できない理由**」や「**つまづいているポイント**」を見極めることから始めましょう。

15

ワーク 片付けができない子

原因:「見通しのなさ」

本人の気持ち:

何をどう片付ければいいのか分からない

対応:構造化

片づけやすい環境



16

ワーク 片付けができない子

原因:「切り替えが苦手」

本人の気持ち:

遊びに集中していて終わらせられない

対応:事前に片付けの時間を知らせる



17

ワーク 活動に参加できない子

保育園で「活動に参加できない子」への対応について近くの先生と考えを話し合ってみましょう!



18

ワーク 活動に参加できない子

活動に参加できない子どもへの対応は、「無理に参加させる」のではなく、その子なりの安心と参加の形を探すことが大切です。

まずは「**なぜ参加できないのか**」という背景を丁寧に見極め、それに応じた支援を行うことで、徐々に活動への関わりが広がっていきます。

ワーク 活動に参加できない子

原因:「不安や緊張」

本人の気持ち:

環境や人が不安、初めてのことが怖い

対応:気持ちに寄り添う

「見ていだけでもいいよ」

20

ワーク 活動に参加できない子

原因:「感覚の過敏さ」

本人の気持ち:

音やにおい、人混みが苦手で活動に入れない

対応:感覚の過敏さを軽減する

21

ワーク 活動に参加できない子

原因:「切り替えが苦手」

本人の気持ち:

遊びに集中していて終わらせられない

対応:事前に片付けの時間を知らせる



22

ワーク 活動に参加できない子

原因:「興味のスレ」

本人の気持ち:

活動内容に興味がない、意味がわからない

対応:興味・関心を探る

絵カード等を活用して説明する

23

「保育」で大切にしたいこと

子どもに**共感**すること(受け入れる)

感情の表現

受け入れられる体験(**情緒の安定**)

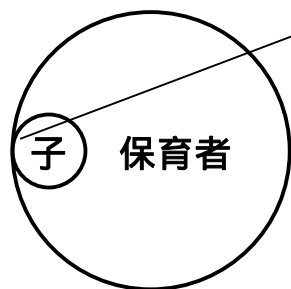
自己抑制の育ち

他者の気持ちの理解

} 意図的な活動

24

情緒の安定と発達支援

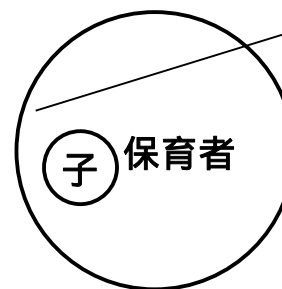


好ましい状態
(接続している)

支援者が子どもの
情緒の安定を支えて
発達を支援している状態

25

情緒の安定と発達支援

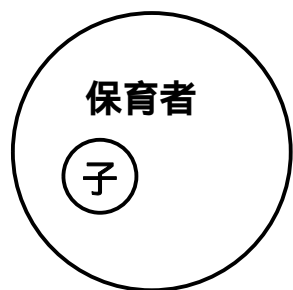


好ましく**ない**状態
(接続して**ない**)

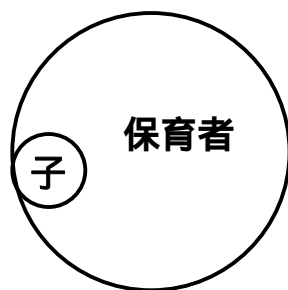
支援者が子どもの
情緒の安定を支えて**おらず**
発達を支援して**ない**状態

26

「困った子」から「困っている子」へ



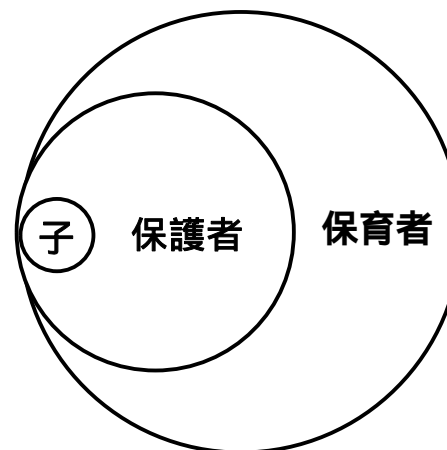
困った子



困っている子

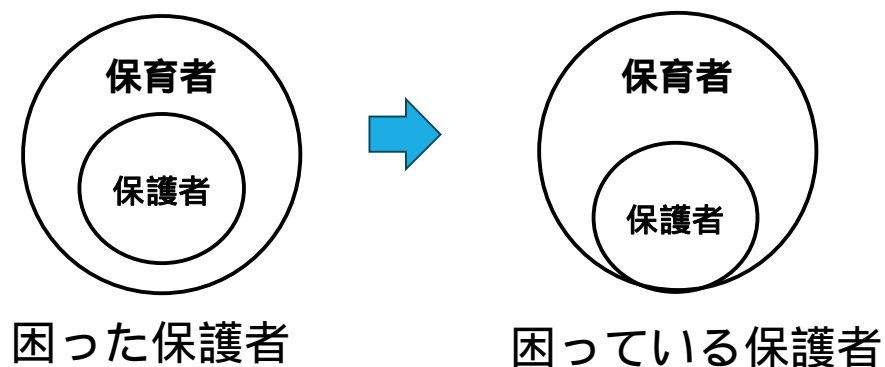
27

情緒の安定と発達支援

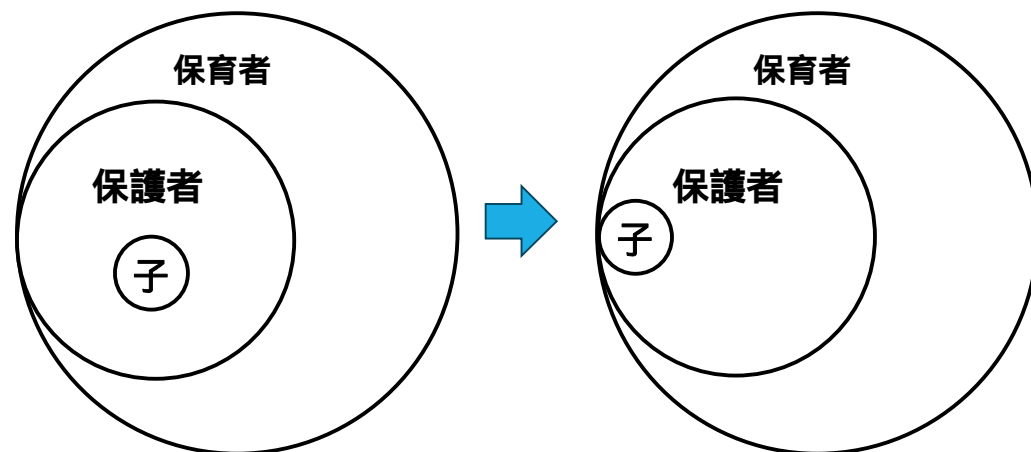


28

「困った保護者」から「困っている保護者」へ



情緒の安定と発達支援



「しあわせの法則」 加藤諦三 著

こどもは なぜ「イヤ」と言ったか？

こどもは 「ミルクは イヤ」と言った

母親は 「こどもはミルクが嫌いなんだろう」と思った

こどもは 「ミルクを飲めるように工夫してくれ」と言ったのに。

この困難の乗り越え方を教えてくれ！
この困難を乗り越えたい！

そうした意味で
こどもは「イヤ」と言ったのに。

ご清聴
ありがとうございました

お疲れさまでした！